

けいせん

議会だより

第41号

二反田団地B棟落成式

令和5年1月12日、二反田団地B棟の落成式が行われました。

二反田団地B棟は4年前のA棟（30戸）に引き続き、15カ月の工期を経て完成しました。

構造は鉄筋コンクリート6階建て、入居戸数は47戸、2DK35戸・3DK11戸・車いす仕様1戸の配置となっており、建物



中央部に9人乗りエレベーターが設置されています。

室内は全室フローリング、トイレは水洗、浴槽はワンタッチでお湯はり・追い炊き機能が付いたシステムバスが設置されており、高齢の入居者の方にもやさしい設計となっています。

この住宅の耐用年数は70年を見込んでおり、入居者の皆様に長く愛される住宅になることを期待しています。

一般質問 (12月定例会)



大塚和佳議員

浄水場及び配水池等の水道関連施設の老朽化対策について

問 土師配水池の建設経過年数と耐用年数及び、その後の計画は。

答 (山本水道課長) 1号は58年、2号は50年経過。耐用年数は60年で、その後の計画はない。

問 住民説明会は。

答 (町長) 現状において開く状況ではない。

問 保険等の加入状況は。

答 (水道課長) 水道課加入の

保険では、1事故における限度額は1億円。

町加入の保険では、身体補償で1人当たり上限額2億円、1事故当たり上限額20億円、財物賠償では1事故当たり2千万円。

問 水道施設等の改修を進めていくための財源計画(補助金・起債・料金改定・基金等)は。

答 (町長) 策定していない。

コロナ支援対策について

問 介護職関係者(個人)・清掃業関係者(個人)への支援金は。

答 (町長) 考えていない。

問 福祉施設やクラスターになつた施設等への支援金は。

答 (町長) 考えていない。

今後の小中学校及び保育所の建築計画等について

問 小中学校の建築計画及びそ

れに向けた協議会等の設置は。

答 (町長) 考えていない。

問 保育所は。

答 (町長) 関係各課と協議を行い、様々な課題について検討していく。

二反田団地や東小学校区等、町の交通対策の計画について

問 予約制乗り合いバスやタクシー(デマンドバス・タクシー)とは。

○参照: YouTube「山形県最上町の利用紹介動画」

答 (小平企画財政課長) 利用者の要求(デマンド)に応じて運行される公共交通で、利用者が利用日時等を事前に申し込み、その予約に応じて運行。

問 地域公共交通会議は、飯塚市や嘉麻市で早くから取り組まれているが、今後の計画は。

答 (企画財政課長) 来年度の計

画策定に向け、本年度中に設置。

答 (町長) この会議での議論や計画策定に係わる分析などを踏まえ、本町における利便性の確保や持続可能な交通体制づくりについて検討する。

※字数制限のため「森林環境譲与税」「駅舎(駅ホーム)の要望書と維持・管理)等」「避難所」「新ごみ処理施設」「二反田団地と入居予定跡地等」は未掲載



吉川紀代子議員

精神障がい者支援について

問 精神障がい者保健福祉手帳の有効期限は短すぎるので、有効期限を廃止すべきでは。

答 (川野健康福祉課長) 治療

による症状の軽減や重症化が短期間に見られるので、2年ごとの再確認が行われている。

学校教育環境改善について

問 恒久的な制度としての学校給食費無償化は。

答 (町長) 次年度以降は無理としても、町の財政状況を鑑みながら手立てをしたい。

補聴器購入費助成について

問 認知症と難聴の関連性は。

答 (町長) 厚生労働省が2015年に出した認知症施策推進総合戦略の中で、難聴が認知症の危険因子に挙げられている。今後、国の方策が示されるものと考ええる。

インボイス制度に伴う免税事業者への影響について

問 地方自治体が行う競争入札において、消費税のインボイス

制度に対応した事業者であることを入札条件とすることの是非について、総務省からの通知内容は。

答 (原中建設事業課長) 適切ではないという通知。

問 本町は入札参加要件にインボイス制度に対応している事業者であることを求めているのか。

答 (建設事業課長) 求めているはい。

問 本町はインボイス制度に対応できていない事業者との取引で、消費税相当分の値引きを求めているのか。

答 (建設事業課長) 求めない。

問 学校給食の食材調達先は。

答 (平井学校教育課長) 学校給食会・筑紫フードサービス・桂川町商工会・とれたて村などから仕入れている。

問 地元農家や事業者などの免税事業者が、取引から排除されることはないのか。

答 (学校教育課長) 免税事業者ということと、取引をやめることとは異なる。

問 シルバー事業についても取引から排除したり、会員一人一人へ課税事業者への選択を求めることはないのか。

答 (建設事業課長) シルバー人材センターとの契約は今後も継続する。

会員一人一人への課税は当面行わない予定だと確認している。

問 令和5年10月から適用されるインボイス制度への取り組み状況は。

答 (北原会計管理者) 制度導入に向けた内部調整が整い次第、課税登録申請を実施予定。

システム改修は現在利用している財務会計システムのバージョンアップを図る形で準備中。これ

に係る新たな費用の発生はなし。

町長の行政報告について

問 土居四角から郵便局(旧道)までの道路拡幅予定時期は。

答 (町長) 拡幅の必要性は承知しているが、具体的な計画はない。



杉村明彦議員

飯塚市のふれあい収集について

問 飯塚市で行われているふれあい収集とは、家庭のごみをごみステーション等に持ち出すことが困難な世帯を対象に、戸別訪問してごみを収集する制度。

また、ごみが出ていない場合には、ひと声かけることによって、高齢者や障がい者の安否確認を行う事業。

桂川町でも制度化しては。

答（永松保健環境課長） 本町では原則、個別収集のため制度化していないが、敷地の外までごみを出せない人からの相談には、役場職員と収集事業者で訪問し、臨機に対応している。

安否確認については、長期間ごみが出ていない等、作業員が普段と異なる兆候を感じた場合には、当課に連絡いただき、健康福祉課と連携していきたい。

町道管理について

問 交通量の多い所はある程度整備されているが、脇道などに入ると全く手つかずの道路がたくさんある。特に住宅地の中の道路は、見過ごされている。

古い舗装から順番に改修していくなど、計画は。

答（原中建設事業課長） 事業

規模が大きく困難な箇所や優先度の低いものも含まれており、要望箇所がゼロになることは非常に難しい。

道路の安全管理上、緊急性の高いものを優先的に取り組んでいるが、交通量の少ない住宅地の枝線についても同様の視点で改修を行っている。

問 舗装の改修がなかなか進まないのは、予算の少なさにあると思う。

桂川駅や駅周辺整備も完了した今、通常土木の予算を増額しては。

答（町長） 必要な予算については、当然確保する必要があると思っている。

沢山の要望があるので、内容を精査しながら進めていきたい。



柴田正彦議員

タンサについて

問 タンサ (Tansa) は探査報道 (調査報道) に特化したジャーナリズム組織。

タンサは、地方創生臨時交付金 (コロナ対応) の第1・第2次補正予算で計上された約3兆円分の使い方6万5千事業をデータベース化し、全国の無駄遣い事業ワースト100を報じた。

なんと、その中に桂川町の二つの事業

①海外留学中で国の特別定額給付金が受けられない学生の保護者に10万円を給付

②県道沿いに、感染症情報を発信する電子ディスプレイを設置が入っている。

なぜ、留学中で国の特別定額給付金が受けられない学生の保護者に、コロナの交付金から10万円を給付したのか。

答（町長） 海外に留学し住所を移している学生には、国から10万円が給付されなかった。

海外に留学できる学生は家庭が裕福だと思われるが、一概にそ

うとは言えない家庭もあることから実施した。

問 「概にそうとは言えない」と言われたが、実際にそんなにひっ迫していたのか。

答（町長） 調査はしていない。

問 調査もせずに、行ったのは間違い。

タンサの指摘にどう思ったのか。

答（町長） 特に感想はないし、実施したことに対し反省はしていない。

(②については略)

問 先日、毎日新聞の川柳欄に次のような川柳があった。「知っている ふるさと納税した町だ」。ワースト100に、二つも入るような町に「ふるさと納税」をしてももらえるだろうか。

町長は、自分一人で決めるのではなく、大事なことは前もって議員全員との話し合いを持つとい

う考えはあるのか。

答（町長） 現在でもしているつもり。不十分ということであれば、必要に応じて対処していく。

問 個別に話すのではなく、議員全員と平場^{ひらば}で話し合う機会をつくってほしい。これは、議長にもお願いしたい。

町民とも意見交流をする必要がある。意図的にそのような機会をつくる考えはあるのか。

答（町長） 現在でもしているつもり。不十分ということであれば、取り組んでいきたい。

※字数制限のため、他は未掲載



竹本慶吉議員

桂川駅周辺整備計画について

問 駅北側から豆田橋までの間が未整備で、朝夕の通勤通学時に混雑が起きている。道路の拡幅を計画しては。

答（町長） 平成22年に策定した桂川駅周辺整備計画においては駅北側送迎ゾーンの整備をはじめ、自由通路・桂川駅南側道路・王塚古墳までの回遊ルートの整備を計画に掲げ、整備を進めてきた。

駅北側道路は幅員が狭く、対面交通が難しい区間が存在している。しかし、当道路を拡幅するためには補償物件も数多くあり、非常に大きな移転補償費とそれにかかる協議を要する状況にある。

今後、駅南側地区の民間活力の開発を誘導しながら、町全体のインフラ整備費とのバランスを図り、優先される事業を絞り込んでいく必要があるため、現段階では工事の計画には至っていない。

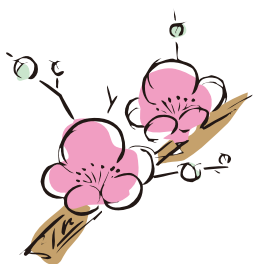
問 穂波川の氾らん防止対策として、JR鉄橋から王塚古墳横

までの堤防拡幅計画は。

答（原中建設事業課長） 平成27年度に一部区間拡幅工事を行い、対面交通が可能な区間を整備した。

全区間での拡幅整備については、県営河川堤防用地を占用し、共用している道路のため、拡幅が難しい。

今後、交通量等を調査しながら、必要な整備を調査していきたい。



○12月定例会の様子は桂川町HP『議会』でご覧になれます。

○3月定例会予定

3月2日～3月20日

（一般質問は3月7・9日）

つづやき

『マイ・スモール・ランド』

50歳の誕生日、ふと思った。「半世紀生きた。しかし、昨日と同じ今日、今日と同じ明日だろう。ぼくは、映画監督になりたかった。そうだ、年の数だけ映画をみよう。」

願いは叶わず、クリアしたのは2回だけ。

昨年、私がみた映画の「私のベスト3」。

『窓辺にて』は、深い言葉による対話でつくられた作品。私自身の来し方を考えた。

『一つの光』は30分間の韓国映画。登場人物の背景は観客にゆだね、人の善意を描ききっている。

『マイ・スモール・ランド』は、在日クルド人の生活を描いた作品。厳しい現実の中で生きるクルド人だが、クルド人女子高校生役が澆刺^{はうさつ}としていたこと、日本人の中に彼らに寄り添う人がいたことには救われた。

桂川町に住む外国籍の人々は、どのような日々の生活を営まれているのだろう。全く知らない自分がいた。

柴田 正彦



12月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
議案第 35 号	ふくおか県央環境広域施設組合理約の変更について	【可決】 全員賛成
議案第 36 号	町道路線の認定について	【可決】 全員賛成
議案第 37 号	桂川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第 38 号	桂川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第 39 号	令和 4 年度桂川町一般会計補正予算（第 4 号）について	【可決】 賛成多数
議案第 40 号	令和 4 年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）について	【可決】 全員賛成
議案第 41 号	令和 4 年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）について	【可決】 全員賛成
議案第 42 号	令和 4 年度桂川町水道事業会計補正予算（第 2 号）について	【可決】 全員賛成

つぶやき

『テッドマール・クラマー』

アラビア半島からペルシャ湾に小さく飛び出した半島国カタールで行われた、2022 FIFA サッカーワールド大会。

強豪国ドイツ・スペインを破り、一次リーグE組を首位通過で挑んだクロアチア戦では残念ながら敗退。

いつの間に世界の強豪相手と互角に戦えるようになったのかと感心しながら、テレビに釘付けになりました。

60 数年前、サッカー日本代表の基礎を作り、日本サッカーリーグの創設にも尽力したドイツ人コーチ『テッドマール・クラマー』という人の存在があったことを知りました。彼が残した名言のひとつに「試合に勝ったものには友達が集まって来る。新しい友達もできる。本当に友人が必要なのは敗れたときであり敗れた方である。私は敗れた方を訪れよう」があります。

私はコスタリカ戦で敗れた日本選手に寄り添うコスタリカ選手の姿に、彼の名言を垣間見ることができ感動しました。

吉川紀代子